

## 留意点

### アースデッキ

アースデッキは廃プラスチックと木質系廃材の複合デッキ材です。表面にサンディング加工を施すことでより自然な木質感を表現しています。取り扱いやメンテナンスには下記の注意事項をよくお読みになり正しくご使用ください。

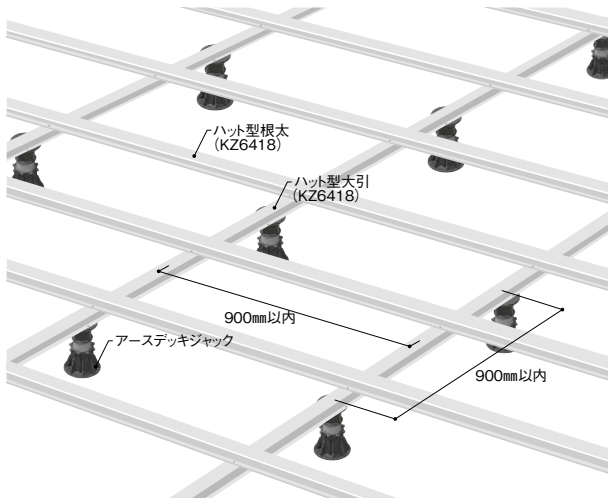
### 設計および施工の留意点

#### 【板厚・大引・根太・根ガラミピッチの選定】

アースデッキは等分布荷重を3,500N/m<sup>2</sup>として各下地材のピッチを設定しています。(下記参照)

#### 標準根太 (h=40)・大引工法

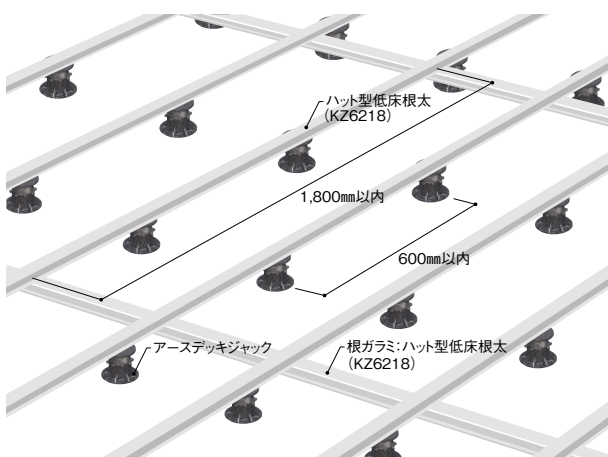
	アースデッキソリッドグレイ アースデッキソリッドグレイプラス アースデッキリポーン	アースデッキ Dwプラス	アースデッキ EXグレイ
デッキサイズ	t25×w145mm	t30×w193mm	t30×w145mm
標準根太ピッチ	450mm	600mm	500mm
大引ピッチ	900mm		
大引東固定ピッチ	900mm		



#### 低床根太 (h=20) 工法

	アースデッキソリッドグレイ アースデッキソリッドグレイプラス アースデッキリポーン	アースデッキ Dwプラス	アースデッキ EXグレイ
デッキサイズ	t25×w145mm	t30×w193mm	t30×w145mm
低床根太ピッチ	450mm	600mm	500mm
低床根太東固定ピッチ	600mm		
根ガラミピッチ*	1,800mm		

\*根ガラミは低床根太と同材です。



\*大引/根太材は必ずハット型大引/根太 (KZ6418)・ハット型低床根太/根ガラミ (KZ6218) をご使用ください。天然木の根太はご使用にならないでください。

#### 【樹液について】

●木粉入り樹脂製品のため、中空材は中空部に入った雨水等により褐色の色水が出る場合があります。

#### 【経年変化について】

- 経年変化によりデッキ表面にチョーキング現象が発生し、衣類等に粉が付着することがあります。
- 紫外線による退色は天然木ほどの変化はありません。雨や直射日光等の環境条件により初期の段階である程度の退色が見られる場合がありますが、その後はほとんど変化しません。

#### 【静電気について】

木粉樹脂製品のため、施工場所の環境により静電気が発生し、人体に影響を及ぼす場合があります。より安全性を求める施設には帯電抑制機能のある下記商品をおすすめします。

- ・アースデッキDwプラス
- ・アースデッキソリッドグレイプラス
- ・アースデッキEXグレイ

#### 【色調差について】

原材料に廃木材と廃プラスチックを使用しているため、また製造上、多少の色調差が混在します。また、表面をサンディング加工しているため、見る角度や方向により色の濃淡が目立つ場合があります。ご了承ください。

#### 【施工場所について】

- 施工場所の外気温差・湿度の影響を受け、伸縮や膨張変形する場合があります。
- 木の成分と金属(鉄・銅・アルミ等)が反応して黒ずむことがありますので、施工中には金属切粉が残らないようにしてください。特に淡色の場合は黒ずみが目立ちやすいため念入りに清掃を行なってください。
- 温泉浴場等に使用される場合は泉質成分によって変色する場合があります。事前にカットサンプル等で変色有無の確認をしてからご採用ください。
- 床用デッキ材のため、壁面への施工には注意が必要です。詳しくはお問い合わせください。

### 納品から施工までの保管方法

- 搬入時の木製パレットやゲタ(角材約300~400mmピッチ)を使用し水平を保った状態で保管してください。従って現場搬入時のパレットやゲタは施工が完了するまで処分しないでください。壁面に立てかけての保管は反りや曲がりの原因になりますので絶対にお避けください。
- 水に濡れないように保管してください。

### 使用上の留意点

- 素足歩行も可能ですが、夏場は直射日光により表面温度が急激に高くなり、火傷のおそれがありますのでご注意ください。
- 重い物を落したり、強い衝撃を与えないでください。デッキ材の破損につながりけがをするおそれがあります。
- 金属類を直接デッキ材の上に置かないでください。木の成分と金属(鉄・銅・アルミ等)が反応してデッキが黒ずむことがあります。
- 製品の上で焚火や花火等をしないでください。火災のおそれがあり大変危険です。燃焼ガス成分は木材とほぼ同じです。
- 表面に揮発性の有機溶剤(ガソリンや灯油等)をこぼさないようにしてください。変色や変形の原因になります。こぼした場合はすぐに拭き取ってください。
- 使用環境により、製品表面に部分的な雨じみ等が発生することがあります。このしみは、原料に使用している木材の成分や空気中の埃等が、雨・雪・散水等により濡れた際に部分的に集中し、水分が蒸発して表面に残った跡です。しみの除去については、全体を水洗いすることにより目立ちにくくなります。